



◎關門間連絡施設速進陳情

關門間直通連絡設備を完成し本土九州の交通路を直通せしむることは、常に地方的便益の増進たるに止まらず、國家産業上並軍事上極めて必要なる施設に屬する所であつて茲に贅言を俟たざる所であるが、關門間經由貨客の逐年増加の勢を示しつゝあると、一面高速度交通機關の發達近時著しきものあるに伴ひ、之が急速實現を要望するの聲は漸次擡頭しつゝある状態である。

日本商工會議所に於ても曩に内務、逓信其他關係官廳へ之が急速實現方を建議する所があつたが、更に今回福岡縣門司市外八市長連名を以て内務大臣宛左記の如き陳情書

を提出した由である。

關門聯絡施設に關し稟申

本土九州の聯繫は關門間に於て直通聯絡を缺ける爲め交通運輸上不利不便尠からず我邦産業の發展上影響する處甚大なるに拘らず未だ完全なる施設を有せざるは甚だ遺憾とする所に御座候、然して一面に於て本土九州間の貨客は年と共に著しく漸増しつゝあるは今更多言を要せざる所にして現在に於ける鐵道の單なる聯絡設備を以てしては益々今後に於ける我國勢の進展に適應せざるのみならず之れが完全なる施設の速進は實に我國産業の發展に至大の關係を齎すを以て政府は之れが實現方に付速に最善の對策を講せられん事を連署を以て稟申仕候。

昭和七年一月十二日

門司市長	後藤多喜藏
八幡市長	圖師兼貳
小倉市長	神崎慶次郎
戸畑市長	吉川充雅
若松市長	大町美種
直方市長	勝野重吉
福岡市長	久世庸夫
久留米市長	石野斐夫
大牟田市長	奥田長作

内務大臣 中橋徳五郎殿